

街の情報掲示板

◎世界文化遺産になった「縄文遺跡群」のことをもっと知る番組

三角山放送局(76.2MHz)では10月1日から、番組「キタキタ縄文!」の放送をスタートした。

世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値・情報を発信すると共に、縄文の思想を学び考えようが始まった。

15分番組。放送日時は毎週金曜の午前9時半から。出演は北海道環境生活部文化局縄文世界遺産推進室の特別研究員である阿部千春さんと、同局パーソナリティーの渡辺望未さん。

これまでの放送では、「縄文時代はどんな時代・文化?」「北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に選ばれた理由は?」など、毎週テーマを決めて話を進めてきた。今後は道内の同遺跡群を1つずつ紹介していく予定。

◎「シニアーパソコン塾」がスマホ短期講座の受講者募集

ボランティアサークル「シニアーパソコン塾」では現在、「スマホ短期講座」の会員を募集している。中高齢者がスマホの基本を使いこなして楽しめるように、技能の高いボランティアが指導する。

対象年齢は50~60歳。開催時期は11月2日(火)~30日(火)。開催日時は毎週火曜の午前10時~正午。場所は西町ビル2階(西町南7-1-45)。

会費3500円、入会金なし。応募締め切りは10月31日(日)。先着10人。詳細問い合わせ及び申し込みは☎090-1380-3072小松さんまで。

◇情報募集

イベント情報やメンバー募集の告知をお寄せ下さい。営利目的以外は無料掲載です。写真もあれば掲載いたします。

〒065-0027

札幌市東区北27東20-1-25-301

編集部310

☎・FAX783-2076

E-mail:hensyuu@xqe.biglobe.ne.jp



決勝戦の様子(2枚とも)

Zoom使って江戸幕府の崩壊学ぶ

「ちえりあ」が11月にオンライン講座

札幌市生涯学習センター

「ちえりあ」では、ネットを利用して自宅で受講する「ちえりあオンライン講座」

イン講座・検証・江戸幕府崩壊・大政奉還から鳥羽伏見の戦への真実

「さっぽろ市民力レッジ」の歴史講座で講師を務めている小宮山一夫さんが、江戸幕府崩壊について語る講座。ビデオ会議アプリ「Zoom」を

月9日(火)。先着順。受講

開催日時は11月24日(火)12月1日の毎週水曜、午後2時から1時間。全2回。受講料は1100円。定員20人。

希望者は、ちえりあ公式ホームページから「ちえりあオンライン講座」で検索し込み。講座

申し込み。受講環境確認のためにテスト配信

を行う。

また、テキストは11月20日(木)までに自宅に郵送

される。

第44回西区少年軟式野球春季大会の準決勝・決勝が今月3日、農試公園で行われた。主催は札幌市西区少年軟式野球連盟。

この大会は5月8日か

ら始まっており、本来な

る予定だった。しかし

延期を重ね、今回やっと

準決勝・決勝戦を行うこ

とができた。

大会には区内15チーム

西区少年軟式野球春季大会の決勝戦行い手稲東ファイターズが優勝

香の大会秋に決着

が参加。トーナメント方式で優勝を目指し、手稲ベースの4チームが準決勝に進出していた。

この日は試合と学校の運動会が重なった選手も

いたが、疲れを見せずに元気良くプレー。準決勝

第1試合では手稲東ファ

イターズが、同第2試合

では福井キンガタイガ

スが、どちらも相手をゼ

ロ点におさえて決勝戦へ

と進んだ。

決勝戦は6対1で手稲

東ファイターズが勝利

し、見事に優勝した。

わらべとひよどりママのふれあい通信

二酸化炭素が増え、地球温暖化につながることを世界に先駆けて発表され、こうした成果がも

行く末を平世紀前から危惧していた真鍋淑郎先生の研究が認められました。

「二酸化炭素が増えれば地球の気温が上昇

が」ということを世

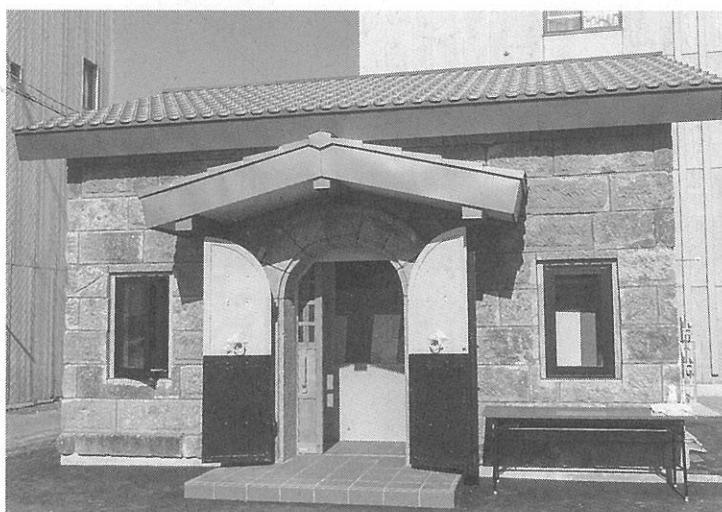
界で発表され、これがこうした成果がも

行く末を平世紀前から危惧していた真鍋淑郎先生の研究が認められました。



ニシン漁最盛期の遺産、発寒へ

小山秀昭さんが譲り受けて今月竣工式



貴重な「漁場建築」が発寒によみがえった

発寒在住の小山秀昭さんが10月、積丹町幌武意2(ほむい)町にあった石蔵を発寒3-1-9(桑園発寒通沿い)に移設した。この石蔵はかつてニシン漁が盛んだた頃、積丹町の網元が建築したもの。明治中期~大正初期に建築され、漁員保管の場所として使用されていた。しかしニシン漁の衰退と共に、昭和50年頃から使われなくなっていた。

小山さんは発寒3-1にある「しなねん商事株式会社」の取締役会長。一昨年の秋、積丹町を旅行した際に、偶然この石蔵を見かけた。すでに使われなくなっている状態だった。石蔵を移設した理由について小山さんは「よく

聞かれるのですが、確実な理由はありません。朽ち果てていたこの蔵を見た時に思い立った」と話している。またこのまま

ではかつて盛んだったニシン漁の貴重な財産がなくなってしまうと思つたことも、移設理由の1つだそう。

積丹町教育委員会の協力も得て移設の話を進め、昨年4月、正式に小山さんが譲り受けた。な

お専門家の調査により、石蔵の屋根には初期の「北海道産瓦」の特徴がある粘土瓦が使われていることが判明している。このことだから、ニシ

ノ漁隆盛期の貴重な「漁場建築」の蔵であることが確認されている。

今月14日には移設工事竣工式が石蔵で行われ、関係者約20人が参加。発寒神社の宮司を招き、修祓(しゆばつ)の儀や祝詞奏上、玉串拝礼などが行われた。小山さんは式の中でも「もし石蔵が生きているとして、ここで第2の人生を送ってほしい」とあいさつした。

来場者は興味深そうに展示物を見て回り、時折会員に質問もしていた。

同会事務局長の小関文夫さんは「歴史を知ることで地域に愛着を持つ人がもっと増えてほしい」と開催目的を話していた。



玉串拝礼する小山さん

西区のシンボルの歩みなど知って

「三角山は語る『三角山と人々の歴史』資料展」

同会は三角山採石跡の緑化や、歴史・地質を学べる場所としての有効利用を目指している団体。今年7月には小中学生向けの冊子「三角山と人々の歴史」を2千部作成し、近隣の学校などに配付した。

今回の資料展は、もっと多くの人に三角山について知つてもらおうと初

めて開催した。会場には「三角山と人々の歴史」の各

ページを拡大したもの

や、周辺の航空写真、三

角山に生息する動植物の

写真など約100点が展示さ

れていた。

来場者は興味深そうに展示物を見て回り、時折会員に質問もしていた。

同会事務局長の小関文夫さんは「歴史を知ることで地域に愛着を持つ人がもっと増えてほしい」と開催目的を話していた。

来場者は興味深そうに展示物を見て回り、時折会員に質

地域の少年野球チームへ贈呈

エコタウンはつさむが廃油利用して作つたせつけん

少年野球チーム5団体への「エコせつけん」贈呈式が今月6日、発寒交流会館で行われた。このエコせつけんは、

廃食油の回収や公園の落ち葉の堆肥化に取り組んでいる「エコタウンはつさむ実行委員会」が6月にかけて手作りした

もの。地域から集めた便用済み油で作ったせつけんで、例年は一人暮らしのお年寄りを招いた食事会で配布していた。

しかし今回は新型コロナウイルスの影響を受け食事会は中止になり、少年野球チームへ贈ることにした。配付先は発寒

地区の子どもたちが所属している西発寒ホークス

ス、ビッグホエールズ、

発寒グリーンホークス、

上手稻コンドル、発寒第一ハンターズ。

贈呈式には発寒体育振興会顧問で、少年野球チ

ーム長の小林真一さんと、

エコタウンはつ

さむ実行委員長の阿部一博さん

が出席。阿部さ

んから100個のせ

つけんが小林さ

んへと渡され

た。

阿部さんは

「油や泥汚れに

効果的だと思う

ので、ユニフォ

ームや靴を洗う

時に使ってもら

う」と話す。

西区PTA連合会が9

月10日、区内の全公立小

中学校とはまなす幼稚園

の計31校・園の保健室に

パルスオキシメーターと

フェイスシールドを1つ

ずつ寄贈した。

西区PTA連合会はコ

ロナ禍のため、今年度予

定していた日本PTA全

員会で今回寄贈を決めた。昨年度も非

接触型体温計を寄贈して

いる。

パルスオキシメーター

とフェイスシールドは業

者を通じてすでに各校・

園へと届けられており、

学校から「これが欲しかったんです」と感謝の言葉が届いたりしている

そう。

同連合会会長の橋本正

道新「ウォーク」は毎

月1回25日発行、道新朝

刊行部301「ウォーク担当係

までお気軽にお連絡を下

さい。

北洋新聞編集局

編集局担当係

までお気軽にお連絡を下

さい。

北洋新聞編集局

編集局担当係